

研究実施のお知らせ

研究課題名：症例報告：大腸がん検診を契機に発見された上行結腸平滑筋肉腫の1例

研究期間：平成30年9月10日～平成31年3月31日の予定

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

大腸がん検診を契機に大腸平滑筋肉腫が発見され、当院外科で手術を受け、経過観察を行っている方。

【研究の目的と意義】

大腸の平滑筋肉腫は、gastrointestinal stromal tumor (GIST)の疾患概念が定まって以降、稀な疾患であるといえます。発見契機としては、血便や腹部膨満感など腫瘍が巨大化してから自覚症状を有することが多いです。今回当院では、自覚症状がなく検診の便潜血陽性を契機に発見された上行結腸平滑筋肉腫の1例を経験しました。大腸がん検診によって、比較的早期の段階で発見、治療できた貴重な症例と思われ、第57回日本消化器がん検診学会総会(2018年6月8日、於新潟)において発表を行いました。日本消化器がん検診学会の学会査読委員より、「今後の消化器がん検診領域の発展のためにも、消化器がん検診学会雑誌に論文化すべき演題」として選出されました。そこで、今回の症例をまとめ同誌への論文投稿を行い、今後の消化器がん検診領域の発展に寄与することを目的とします。

【研究の方法】

後方視的に電子カルテより病歴を拾い上げ、各種画像を選出します。病理組織所見については病理医と検討のうえ、選出します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（経過、血液生化学所見、大腸内視鏡画像、CT画像、病理組織学的所見）・研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報 を 厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

この研究は、単施設研究として、以下の研究機関で実施されます。

主任研究者：野村栄樹 仙台市立病院消化器内科

分担研究者：菊地達也 仙台市立病院消化器内科

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者様の情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合

などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 消化器内科

科部長：菊地達也（当院の研究責任者）

または 医長：野村栄樹

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）